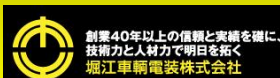


2014 日本FID代表 第1次キャンプ



G K 活 動 報 告

【報告者】柳澤 繁(東京都 FID 選抜 GK コーチ)

1 招集GK

- 加藤 隆生 (秋田県) 180cm 70kg
- 内堀 嗣円 (神奈川県) 179cm 80kg
- 木野 友嘉 (岐阜県) cm kg

2 スケジュール

- 3月21日 トレーニング 午後
- 3月22日 トレーニング 午前、午後
- 3月23日 試合 vs 武蔵高等学校 (東京都)

3 GKテーマ

『ゴールを守る』『いい準備をし続ける』『伝える』

- ① 安全確実なプレーをするための準備
- ② 的確なポジショニング
- ③ ゲーム状況下での意図のある技術の発揮
- ④ コミュニケーション (DFとの連携、リスクマネジメント)

4 トレーニング&試合

トレーニングは、前回の課題からポジショニングとクロストレーニングを行った。ポジショニングではゴール前での細かいポジショニングを確認した。相手の状況を見ながら予測をもってプレーできるように働きかけた。移動がボールに合わせてしまう、タイミングが合わないなど基本的な部分が主な修正部分であった。これからは相手の持ち足が右なのか左なのか、シュートなのかパスなのか、コントロールを観て寄せるのか、構えるのか、ゴールの守るべき優先順位を押さえながら、選手自ら判断しプレーできるようになってもらいたい。クロスでは、主に静止球に対して積極的にプレーできるよう働きかけた。三人ともにポジショニングが低い、身体の向きがクローズしすぎている場面が多く見られた。FWを入れた状況下では中の状況を観る意識がなく消極的なプレーが多くなっていた。これからは選手それぞれが持っている能力の中で守備範囲を広げられるようにし、試合状況下でも安定した守備範囲を保てるようになってもらいたい。

ゲームでは味方と連携して守ることはできなかった。味方を動かし意図的にボールを奪うことはまだできない。しかし、味方に伝えることは良くなってきている。攻撃時のDFラインのマークの確認、1st DFの名前をコール、ゴール前でのボリュームを上げた声をかけなど変化は感じられた。今後はその部分は伸ばしながら、DFと協力してゴールを守り、ボールを奪えるようになっていかなければならない。

5 まとめ

いよいよブラジルに向けて活動が本格的に動き始めた。われわれがこれまで積み上げてきたものに何を加えていくのか。もう一度基本技術を徹底し、試合での課題をテーマに取り組んだ。短い期間ではあったが、良い刺激を与えられたのではないかと感じている。今回は神奈川県稲葉氏にトレーニングをサポートしていただき、貴重な経験ができたのではないだろうか。

また、今回のキャンプでは、選手の所属先の指導者をはじめ、多くの指導者の方々が観に来られた。われわれスタッフ陣とコミュニケーションがとれ、トレーニングの狙いや課題を共有できたことは成果の一つである。

最後に、キャンプに参加してくれた選手、選手の所属チーム、運営担当、広報活動の方々、施設の皆さん、指導スタッフに感謝申し上げます。